

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立谷中中学校 校長 武藤 秀徳

1 学校教育目標

- 自ら学ぶ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- たくましく生きる生徒

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ② 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣を身に付け、読書力をつける。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14,758 冊(蔵書基準冊数 11,680 冊) / 蔵書率 126.35% (前年度末 124.74%)									
	② 新規購入図書 484 冊 / 廃棄図書 296 冊 / 増減冊数+188 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.2%	3.4%	10.5%	9.3%	8.4%	4.9%	2.8%	11.6%	5.4%	40.5%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：昼休み～17：00									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 4.2 冊 (前々年度末： 4.02 冊)									
	③ 学校図書館利用率 1076.5 % (前々年度末：1002.3 %)									

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 冊 (蔵書基準冊数 冊) / 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： (前年度からの変更 あり・なし)									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊 (前年度末： 冊)									
	③ 学校図書館利用率 % (前年度末： %)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書館を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
① 休み時間や放課後の時間等、必要に応じて学校図書館を活用して、読書を行うことができる。					① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増					
② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。					② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上					
③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。					③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%					
目標達成状況										
①										
②										
③										

第2学年	①様々な読み物を読もうとする意欲を育てる。 ②課題によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③学校図書をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る。
今年度の成果目標 ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	達成基準 ① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上 ③ 読書や探究活動の授業を実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	① 読書を通して考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
今年度の成果目標 ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、必要性に応じた読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりより仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	達成基準 ① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学校図書館を活用し、調べ学習を行う ③ 読書や探究活動の授業を実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① ② ③	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。 ② 全蔵書の残りの3割程度について、「3桁分類」への転換作業を完了する。(全蔵書7割は令和4年度中に完了)	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ キャリア教育等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。 ④ 学校図書館だよりの展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上や情報リテラシー教育に努める。	
【その他】 年度末の貸し出し返却率が100%となるよう取り組む。	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）